



「自信」を体の中のコップに溜める

校長 ○○ ○○

「自信」は、日々の生活の結果として、体の中のコップに自然と溜まっていくものです。

でも、それは溜まるだけでなく、蒸発していきます。時には、自ら誤ってこぼしてしまうこともありますし、人からこぼされてしまうこともあります。

「自信」の溜まるコップはとても正直で、その人の状態を包み隠さず表し、その量は他の人からも丸見えです。コップに自信が溜まっていないと、防衛本能が働いたり、緊張して体がガチガチになったりして、本来の力が発揮できなかつたり、自身を大きく見せようと人の迷惑になるような行動を起こすこともあります。

「自信」はごまかしの効かないものであり、子供たちの体の中のコップにしっかりと溜めて欲しいものです。ここで大切なことは「自信」は溜めるものでなく、溜まるものだということです。

私たち教師や保護者が意識すべきなのは、子供自らが「自信」をつけようとするのではなく、「自信」が自然に溜まるような環境や体験に子供をおくことだと考えます。

朝の登校の様子を見ていると、にこやかに笑って「おはようございます」とあいさつしてくれる子供がいます。逆に背筋を丸めてあいさつもそこそこに通り過ぎていく子どもがいます。子供のコップの中の「自信」の量が、はっきりと見て取れます。

もう重々おわかりのことだと思いますが、「自信」をつけて子供の自己有用感を高める手立ては、子供の良いところを見つけて褒めることです。子供はほめられることが大好きです。褒められることで子供は「自信」をつけることができます。

自信過剰になってしまったらいけないと思われる保護者の方もいらっしゃるかもしれませんが、子供は自信過剰くらいがちょうど良いと思います。怒られることが怖くておびえる子供より、多少自信過剰気味な方が可愛げがあると思いませんか。

アメリカなど海外では、たいていの人は自信があり、褒めると Thank you. といって当たり前だという反応が返ってきます。

褒める時のコツとしては、子供の良いところを見つけることだと思います。そのためには、保護者の方々も我々教師も目を離さず、しっかり子供を見ることだと思います。

同じ出来事でも、良い点と悪い点が表裏一体です。悪い点は良い点でもありますので、良い方を見て褒めるように心がけると良いと思います。注意する時は、欠点だけを挙げるのではなく、「あなたの○○なところは良いね。もう少し○○だと、もっと良くなるね!」このような言葉づかいで伝え、前向きにとらえられると思います。

学習でも、スポーツでも、習い事でも、生活の中でもいいです。成功も失敗も含めたあらゆる経験を通して、子供自身の中に「自信」が0.00001グラムずつでも溜まっていくようにしたいものです。

それが、大人になってじわじわ効いてくるものだということを、今、本当に実感しています。

【 児童総会 】

2月10日(金)に児童総会が行われました。体育館に4年生以上の子供たちが一堂に会して行われたのは2年ぶりです。今年度の吉野東小学校スローガンや委員会活動の振り返りや、来年度のスローガンに関する話し合いを行いました。各委員会が工夫を凝らした発表を行ったり、テーマについて活発な意見交換したりすることができました。また、リモートで3年生の各教室もつないで、児童総会の様子を視聴してもらい、これからの児童会活動を盛り上げる工夫も行ってくれました。子供たちにとって児童会活動は、学校生活の中の様々な課題を自分事としてとらえ、みんなで話し合ったり考えたりすることで、子供たちに「自分たちの学校をよりよいものに変えることができる」という「自治的能力」を育てるためにとても大切です。これからの子供たちの実践をしっかりと見守っていきたいと思います。



【 夢に向かって 6年 】

2月22日(水)、6年生を対象とした職業講話を行いました。これは、県内で活躍されている方からお話を聴く時間を設けることで、子供たちの仕事への興味・関心を喚起し、職業観の育成を図るとともに、将来の自分をイメージして今の自分を見つめ直す機会として実施しています。

今回は、KTSで夕方のニュースを担当している「井上 彩香」さんをお招きして、アナウンサーのお仕事について、お話をいただきました。この職業講話では講師の方の体験に基づく具体的なお話に聞き入る子供たちの姿が見られ、自分の夢や目標の実現につながるよい機会になりました。これからはニュースを見る子どもたちも、井上さんのお話を思い出しながら、世の中で起きている出来事について思いを馳せられるようになって欲しいと思います。



【 学校保健委員会・情報セキュリティー出前授業 5年 】

2月15日(水)は、外部講師を招いて「情報セキュリティー」に関する講話を行いました。今回は、実際に子供たちが扱っているiPadを操作する体験活動も行い、不正アクセスやネットに広がる危険について、具体的な事例を交えながらの講話となり、参加して下さった保護者の方々にもたいへん有意義な時間となりました。また、翌日には、5年生を対象に授業も行いました。子供たちにとって身近なインターネットですが、そこに潜む危険やセキュリティーの大切さを強く実感することができました。身近なネットだからこそ、子供たちにも正しく、安全に活用してもらいたいと思います。(左写真:学校保健委員会の様子)

【 鹿児島定着度調査通過率比較 】

	本校	県平均
国語	69.5	70.9
社会	80.6	77.5
算数	67.2	67.4
理科	68.6	71.6

【 鹿児島学習定着度調査の結果について 】

5年生を対象に1月に実施した鹿児島学習定着度調査結果についてお知らせします。今年度は、県平均結果との通過率を比較した場合、社会を除いた教科で県平均を下回る結果となりました。この結果を受けて、学校では明らかになった課題については今後の対策を検討し、子供たちの学力向上に向けて全職員で努力を重ねていきます。



【 今後の行事予定 】

【3月】

3日(金)お別れ遠足 6年生を送る会
23日(木)第42回卒業式
24日(金)修了式・離任式(1~5年)
春休み3/25(土)~4/5(水)

【4月】

6日(木)新任式・始業式・入学式



【 縄跳びオリンピック 】

3学期は、始業前の体力づくりの時間を中心に子供たちが縄跳びに励む姿が多く見られました。先週は、各学年で「縄跳びオリンピック」が開かれ、自分のベストを出そうと必死に取り組む子供たちの様子がとても頼もしかったです。